

分かりやすく実践的な防災講座

「イツモ防災講座」 基礎研修のご案内

市町村職員や消防本部職員、自主防災組織リーダー等、地域で防災啓発活動を担う方を対象とし、防災を分かりやすく伝えるためのスキルを身につける研修を実施いたします。

希望者には、防災講座やイベントで使える「スライド」や「配布資料」のデータを無償提供いたします。さらに、応用研修(別途開催)を受講していただくと、申請により、県民向けに防災啓発を行う「イツモ防災インストラクター」に認定いたします。

参加された方全員に、イツモ防災マニュアルブックを進呈いたします！



3つの自衛編 / 災害時のトイレ対策編 / 自宅サバイバル編 / 地震時の行動編

【テーマ】 家具転倒防止、防災グッズ、災害時の食事、災害時のトイレ、連絡方法など

【開催日程】

日時	会場	定員	備考
8月5日（水） 10:00～16:00	北本市文化センター 3階 会議室 （住所：北本市本町1-2-1）	70名	参加費無料、会場案内は別紙をご参照ください。

※定員を超えた場合は、抽選を行い受講者の調整をさせていただきますので、あらかじめご承知おきください。

【対象者】 埼玉県内市町村職員/埼玉県自主防災組織リーダー養成指導員/
埼玉県内消防本部職員/埼玉県内消防団員/防災に興味がある方 等

【講師】 NPO法人プラス・アーツ

【主催】 埼玉県 【企画・運営】 NPO法人プラス・アーツ

【申込方法】 下記 URL または QR コードからお申込みください。

(<https://forms.cloud.microsoft/r/Wdfrj3c2bi>)



【申込期限】 7月21日（火）

申し込み QR コード

【ご連絡先】 メール: a3115-06@pref.saitama.lg.jp

TEL: 048-830-8148

埼玉県危機管理防災部 危機管理課 普及啓発担当

【基礎研修の内容予定】 約4時間（2回程度の休憩含む）

① 「イツモ防災事業」概要説明 <約 10 分>

本事業の概要を説明します。

② イツモ防災講座 デモンストレーション <約 110 分 ※休憩含む>

講師がイツモ防災講座を実演します。まずは参加者として、基礎的な知識を学んでいただきます。

③ イツモ防災講座 解説 <約 100 分 ※休憩含む>

講座を振り返りながら、講師として実施する際のポイントやツールの活用方法について解説します。

④ 地域での展開・活用についての解説 <約 20 分>

「イツモ防災講座」を各地域に広めていただくため、講座を開催するためのノウハウや、連携先などについて解説します。



イツモ防災事業とは

“あなたのイツモが、モシモを変える。”をスローガンに、「防災」が埼玉県民にとって「あたりまえのこと」として日常生活に浸透していくことを目指す防災キャンペーンです。市町村職員や自主防災組織リーダーの皆さまを対象とした防災啓発スキルを向上させるための研修、分かりやすい啓発物の制作など、防災の伝え手やツールを増やしていきながら、県全体の防災力を着実に向上させることを目指します。



【講師プロフィール】



NPO法人プラス・アーツ

阪神・淡路大震災をきっかけに、「防災の日常化」をテーマに掲げて活動しているNPO法人。被災者から学んだ震災の教訓をもとに、楽しみながら学べる防災イベント「イザ！カエルキャラバン！」や実践的防災セミナー「地震ITSUMO講座」の企画・実施、防災グッズや防災備蓄品の監修など、市民目線の防災に取り組む。現在、首都圏、関西圏など全国の地域・自治体と協働する他、インドネシア、中米、タイ、モンゴル、フィリピンなど海外での防災教育普及にも取り組む。東京ガス、三井不動産レジデンシャル、無印良品など企業の防災アドバイザーも務める。

【講座解説ツールの提供】

研修内で講師が使った「スライド」や「配布資料」のデータを、希望者に提供します。講師を務めるNPO法人プラス・アーツがさまざまなプロジェクトの中で集めた最新の知見や情報を、イラストを多用して分かりやすくまとめたデータとなっています。

<スライド>

すぐにできる家具関連の対策①

軽いものは上に
重いものは下に

軽いものは上に、
重いものは下に置いて、
家具の重心を下げます。

ガラス製品など、
危険なものは家具の上に
置かないようにします。

※保存期間7年

断水になれば自宅のトイレも使えません。
4人家族の場合、最低7日分70～140枚必要！

<配布資料>

家具転倒防止 001

家の中の防災対策

サバイバルキッチン 001

食料備蓄の知恵

7日間備蓄を実現するための知恵

食べながら使える「ローリングストック法」